

津田塾大学  
創立125周年記念  
講演会

津田塾大学は、創立 125 周年記念事業として上野千鶴子氏をお招きし、未来を担う女性たちに向けて力強いメッセージを発信することを目的として、この講演会を開催いたします。

社会学者 上野千鶴子 が語る  
「変革を担う、女性であること」※

※津田塾大学が TsudaVision2030 で掲げるモットーです。



撮影：後藤さくら

2025 年 9 月 6 日 土

14:00 - 15:30 ※開場は 13:30 より開始

会場 〒187-8577 東京都小平市津田町 2-1-1

津田塾大学 小平キャンパス

※ご来訪の際は公共交通機関をご利用ください。

参加無料

西武国分寺線「鷹の台」駅より徒歩約 8 分

JR 武蔵野線「新小平」駅より徒歩約 18 分

JR 中央線「国分寺」駅北口より西武バス（武蔵野美術大学行）  
約 12 分「津田塾大学」下車すぐ

主催：津田塾大学記念事業委員会

## 上野千鶴子 Profile

社会学者・東京大学名誉教授・認定 NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長・上野千鶴子基金代表理事。1948 年富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。社会学博士。平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院大学客員教授等を経る。1993 年東京大学文学部助教授、1995 年同人文社会系研究科教授。2012 年立命館大学特別招聘教授。元学術会議会員。専門は女性学・ジェンダー研究、高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。『当事者主権』（中西正司と共著、岩波新書）、『ケアの社会学』（太田出版）『おひとりさまの老後』『男おひとりさま道』（法研）、『おひとりさまの最期』（朝日新聞出版）、『女の子はどう生きるか、教えて！上野先生』（岩波ジュニア新書）『在宅ひとり死のススメ』（文春新書）『フェミニズムがひらいた道』（NHK 出版）『おひとりさまの逆襲』（小島美里と共著、ビジネス社）『史上最悪の介護保険改定?!』（樋口恵子と共編著、岩波ブックレット）『上野千鶴子をもっと文学を社会学する』（朝日新聞出版）『最期はひとり』（樋口恵子との共著・マガジンハウス）『「おひとりさまの老後」が危ない!』（高口光子との共著・集英社新書）『こんな世の中に誰がした』（光文社）『挑戦するフェミニズム』（江原由美子との共編著、有斐閣）『マイナーノートで』（NHK 出版）、『当事者主権 増補新版』（中西正司と共著、岩波書店）、最新刊は『アンチ・アンチエイジングの思想 ポーヴォワール「老い」を読む』みすず書房等がある。

## お申込み

はこちらから



[https://forms.gle/  
ZBhNdxifdtfWgMPJ9](https://forms.gle/ZBhNdxifdtfWgMPJ9)

要事前登録  
定員になり次第受付を終了します。

お問い合わせ

津田塾大学経営企画課 〒187-8577 東京都小平市津田町 2-1-1

Tel : 042-342-1663 E-mail : senryaku@tsuda.ac.jp 公式 Web サイト : <https://www.tsuda.ac.jp/>



125<sup>th</sup> Anniversary 1900-2025

2025 年、津田塾大学は  
創立 125 周年を迎えました